

## 地域の特色

### ① 地理的外観

波多津町は、伊万里市の北辺、市中心部より16kmの距離に位置する。古くは縄文時代前期の曾畑式土器が出土したことから、少なくとも今から五千年前から先人の営みがあったことが明らかにされている。また、畑津には県内最古の社殿建造物である田嶋神社本殿があるなど、古い歴史と豊かな自然をもつ町である。

江戸時代は、唐津藩に属し、静かで安穏な生活に支えられてきたためか、言語・人情風俗・生活習慣等に一種の穏やかさを有している。

### ② 産業(職業)経済の状況

産業の主体の一つである農業では、米・麦等の穀物の他、蜜柑、椎茸、煙草、イ草等の栽培及び養蚕等がさかんに行われてきた。今日では、蜜柑、煙草、イ草、養蚕等が漸次減少し、ハウスイチゴや玉葱等の生産が増えてきている。

しかし、食糧事情の変化、農作物の自由化などにより、専業農家の数は大きく減少し、兼業農家または会社勤めの保護者が増えてきている。古くからの主産業である漁業は、農業と同じく、近代化や大型化に押され、漸次零細化している。現在はフグやタイなどの延縄漁や車エビの養殖などが行われている。

### ③ 教育に関する関心

地域社会の学校教育に対する期待は大きく、町民をあげて学校を盛り立てていこうとする意識が高い。保護者のみならず、地域全体で学校行事等に積極的に協力されることが多い。また、教職員に対する期待と信頼は大きく、学習指導・生徒指導にも協力的である。

### ④ 教育上特に配慮すべき点

児童は、素直で純朴である。与えられた課題に対して熱心に取り組む。統合したことにより、校区がさらに広くなった。スクールバスを利用する旧波多津小学校の児童は、バス停までの登下校に配慮を要する。また、旧波多津東小学校の児童は、通学路に民家のない距離が長いため、集団登下校やバス利用等で配慮を要する。児童は運動を好み、元気で活発である。体育面では、伝統的に定着した「一輪車」、社会体育の野球、ジュニアバレーがあり盛んである。スポーツを通して、子どもたちの健全な育成と体力の保持増進を図っていこうとする機運がある。また、平成30年度「がん教育」について県からの指定を受け、研究発表を行った。「健康教育」の充実を図り、授業参観も行っている。